

ゆい
結 通 信

民主主義の行方

牧野直子

 先行きの見えない社会情勢

今、社会は混とんとしています。5月に予定されているトランプ米大統領と北朝鮮金総書記の米朝会談を前に、最近ではシリアへの米・英・仏によるミサイル攻撃が強行されました。世界情勢は一層混迷を深めています。この通信が発行される頃には、新たな局面に立っているかもしれませんが、全く予想が付きません。

そんな中、国内では森友文書の改ざんや、イラク日報問題、また加計学園問題など、日本の政治の信頼性が大きく揺らいでいます。本来ならこのようなあり得ないことが起こっている責任をとって内閣総辞職を行う事態です。国会前には「安倍政権打倒」を訴える5万人の人が抗議行動を起こしているそうです。問われているのは私たちです。黙っていることはそれを認めていることになりかねません。国民がないがしろにされていてもそれを許してしまっている私たち。今、民主主義の行方がわからなくなっているように感じています。

意見の異なる方と積極的に交流し、そしてお互いに納得できる新たな道を見つけていくことが大切ではないかと思うようになりました。お互いに影響を与えあえるような信頼関係を築くこと…それが「不断の努力」なのではと。そしてそれが対話路線といわれるものであり、力づくではなく、平和的に物事を解決する方法です。そして「結みのお」の活動を通してそのような信頼関係を築いていけたらと強く思います。

 あらたな可能性を信じて

今、若い方々の中に、農業や食べ物、着物のリフォームなどに関心を持つ人が増えてきているように感じます。効率を重視した大量生産・大量消費社会は早晚行き詰まることでしょう。その次に来るのは多様性を尊重した持続可能な社会だと思います。効率は悪いけれど、また時間はかかるけれど、畑を耕すようにじっくり育てる・・・そんな中で民主主義が根付いていくような気がします。



 憲法記念日を前に思うこと

まもなく73回目の憲法記念日を迎えます。戦後生まれの私は、素直に新憲法の理念である平和主義や基本的人権、三権分立について理解してきたつもりでした。でも今となっては、「私は一体何をしてきたのだろうか?」と思います。憲法第12条にはこう書かれています。「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、それを保持しなければならない」そして今、「私は自由と権利を守るためにどんな努力をしてきたらう?」と忸怩たる思いでいます。これでは次の世代に申し訳ないという気持ちでいっぱいです。

戦後の教育の中で、民主主義の原理は多数決だと単純に信じてきた世代です。でも本当に大切なのは、少数意見を切り捨てるのではなく、お互いの意見を尊重することではないでしょうか?そして、これが意外と難しいのです。

バザーしまーす!! お楽しみに〜〜

★ガーデンマルシェに出店

5月12日(土) 10:00 ~ 16:00

フォレストガーデン(箕面6-10-21)
手作りお菓子も出品します!



★「結みのお」でバザー

6月9日(土) 10:30 ~ 14:30

結みのお1階 新鮮な無農薬野菜も満載!

掘り出し物を探すのも楽しみです。おたがいの交流も大事な目的です。カフェでお茶しながらのおしゃべりもお楽しみ下さい。